

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公開番号】特開2001-49015(P2001-49015A)

【公開日】平成13年2月20日(2001.2.20)

【出願番号】特願平11-221127

【国際特許分類】

C 08 J	7/04	(2006.01)
B 32 B	27/32	(2006.01)
C 08 J	5/18	(2006.01)
C 08 L	23/10	(2006.01)
C 08 L	45/00	(2006.01)

【F I】

C 08 J	7/04	C E S J
B 32 B	27/32	E
C 08 J	5/18	C E S
C 08 L	23/10	
C 08 L	45/00	

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月24日(2006.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリオレフィン系樹脂を90重量%より多く100重量%以下及び無機または有機微細粉末を0重量%以上10重量%未満含有する基材層(A)の少なくとも片面に、ポリオレフィン系樹脂0~85重量%及び非晶性樹脂15~100重量%を含有する表面層(B)を有し、かつ表面層(B)の空孔率が5%以下であることを特徴とする多層樹脂延伸フィルム。

【請求項2】

表面層(B)のポリオレフィン系樹脂の含有量が20~85重量%であり、かつ、非晶性樹脂の含有量が15~80重量%である請求項1に記載の多層樹脂延伸フィルム。

【請求項3】

前記非晶性樹脂が環状オレフィン系樹脂である請求項1または2に記載の多層樹脂延伸フィルム。

【請求項4】

前記非晶性樹脂のガラス転移温度が170℃以下である請求項1~3のいずれか一項に記載の多層樹脂延伸フィルム。

【請求項5】

前記表面層(B)のポリオレフィン系樹脂が、プロピレン系樹脂、エチレン系樹脂、またはこれらの混合物である請求項1~4のいずれか一項に記載の多層樹脂延伸フィルム。

【請求項6】

不透明度(JIS P 8138)が70%未満である請求項1~5のいずれか一項に記載の多層樹脂延伸フィルム。

【請求項7】

前記表面層(B)の上にピグメントコート層が設けられている請求項6に記載の多層樹脂延伸フィルム。